

解答例

適性検査Ⅰ

1 100点

〔問題1〕 20点

うるしという素材をさわり続けることで、言葉にはならない  
ア 真実の世界 を イ 具体的な形と色に置きかえる ことをめざす営み。

〔問題2〕 20点

黒板を使うことで、研究を推し進めることになるだけでなく、  
ウ 過去の学者とつながったり、新しいアイデアや考え方につながったりできる から。

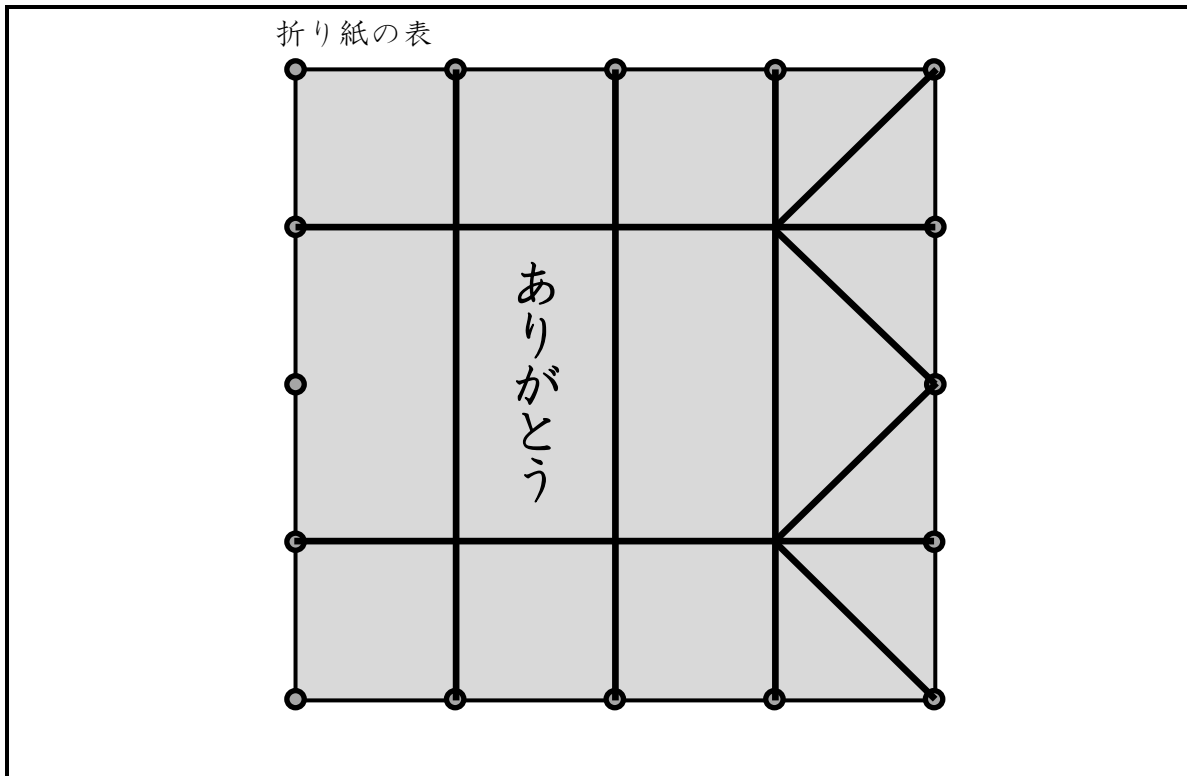
〔問題3〕 60点

(省略)

適性検査Ⅱ

1 40点

〔問題1〕 20点



〔問題2〕 20点

(5円こう貨が1枚<sup>まい</sup>ではない理由)

お金の入ったぼ金箱の重さから空のぼ金箱の重さを引くと、お金だけの重さができる。

$552.64 - 452.14 = 100.5$ である。

5円こう貨だけが1まいあたりの重さの小数第二位の数字が5だが、お金だけの重さの小数第二位の数字は5ではないから。

こう貨	1円	5円	10円	50円	100円
枚数	1枚	4枚	1枚	2枚	15枚

合計の金額 1631 円

2 30点

〔問題1〕 15点

地形に着目すると、鹿児島県の方が静岡県より急けいしゃのわり合が小さく、茶  
つみ機が導入しやすいから。また、つみ採り方に着目すると、京都府では、高級茶を  
製造するために、今も手づみが行われているから。

〔問題2〕 15点

(1)	<2010年>	2.6	%
	<2024年>	11.8	%

(2) まっ茶に関する日本の文化・歴史を伝えるために、茶道をしょうかいするポ  
スターを英語などの様ざまな言語で作成し、駅や観光地と協力して、多くの外  
国人がおとずれる場所にけい示する。

3 30点

〔問題1〕 16点

〔ア〜クの中から三つ〕 (ア)(オ)(キ)

〔説明〕 アとオを比べると重い方が着地するまでの時間が短い、オとキを比べ  
るとキの方が重いのに着地するまでの時間が同じであるから。

〔問題2〕 14点

種Aの方がおそい      種Bの方がおそい      どちらも同じ

〔説明〕 実験3でも実験4でも種をはなしてから100cmまでの落下する様子  
は同じなので、実験3と実験4の種をはなしてから着地するまでのきよりの  
差と時間の差をそれぞれ求めると、きよりの差は80cmで同じだが時  
間の差は種Bの方が長いから。

適性検査Ⅲ

1 50点

〔問題1〕 10点

板の長さ	90	cm
------	----	----

〔問題2〕 20点

じ磁石の個数	10	個
理由	<p>実験2でじ石がぶら下げられる重さは、おもりの重さとスチールかんの重さを足したものである。じ石の個数を2個、3個と増やしていくと、5個と6個のときぶら下げられる重さは最大になり、827g未満と考えられる。</p> <p>実験3でじ石とスチールかんのいちを逆にすると、スチールかんが持ち上げられる重さはじ石の重さになる。磁石の個数を9個にしたときに、ぶら下げられる重さは727g未満で、9個の磁石の重さは684gだからここまではたえられる。</p> <p>表1表2から、じ石が10個のとき、ぶら下げられる重さは727g未満だが、磁石の重さは760gとなり、ここで持ち上がらなくなると考えられる。</p>	

〔問題3〕 20点

本体の方が軽い ・ <span style="border: 1px solid black; border-radius: 50%; padding: 2px;">キャップの方が軽い</span> ・ 同じ	
理由	<p>表から本体とキャップの体積を読み取ると、それぞれ2.7cm<sup>3</sup>、4.7cm<sup>3</sup>とわかる。同じ体積にするため、2.7と4.7をかけると12.69なので、12.69cm<sup>3</sup>の重さで比べると、本体は16.262g、キャップは11.718gとなるので、同じ体積で比べるとキャップのほうが軽いと言える。</p>

2 50点

〔問題1〕 20点

(1)	ア	301	イ	202
	ウ	100	エ	106
(2)	ぐう数であることと、3でわると1余る という特ちょうがある			

〔問題2〕 20点

オ	5	カ	8
キ	13	ク	89

〔問題3〕 10点

ケ	6	コ	20
---	---	---	----